

「de mano(で まあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はスペイン語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まあのから de mano

スペイン語で「mano」は「手」、
「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】

兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6

☎ 06-6495-2546

📠 06-6495-2900

✉ mano0298@snow.plala.or.jp

HP <https://www.e-sora.net/mano/>

牛さばき体験スタート

6月6日(土)-7日(日)

いよいよ牛肉の加工を引き継ぐさんさんファームの原さんが、まあのまでやってきました。土日の一泊二日で、これから毎月続けていく予定です。

まず全体の作業予定を伝え、牛のパーツの説明をします。牛さばきは本や動画で復習はできても、実際やってみないと覚えられません。AIから最も遠い技術でしょう。

さて、パーツに私が少し包丁を入れ、原さんにもやってもらいます。牛と豚との大きな違いは「スジ引き」です。これができて初めてきれいにさばけます。包丁研ぎでは私も苦労していますが、原さんの包丁はちょっと研ぎが足りません。もっと先をとんがらせて鋭く研ぎあげないと、スジに肉が多くついてしまいます。

ただ彼は豚肉を20年以上さばいてきました。しかも偶然にも、スライサーも包丁もまあのと同じメーカーで使い慣れています。スライサー

の扱いや焼肉のカットなどは丁寧でスムーズです。それで予定より早く作業が進んだので、当初計画以外のパーツも手掛けてもらえました。



大鹿村&さんさんファームへ行ってみませんか

来年まあの終業後、アルプス牛を引き続き加工してくれることになったさんさんファームにも、今回訪れます。まあのとしては最後の生産者訪問になるでしょう。企画は、安全農産供給センターです。

コムーターバスを、プロのドライバーが運転します。9月12日(土)13日(日)の日程です。

関心をお持ちの方はまあのまでお問い合わせください。

送料負担のお願い

—8月1日発送分より—

すでにグループの皆さんにはお知らせしていますが、まあのからお送りするヤマト便の送料を皆さんにご負担いただきたいと思います。

今まで長くお肉の値上げをせず、特に牛肉はもう7年以上価格変更なしにやってきました。そもそも牛肉は高い食べ物なので、なるべく抑えていこうと考えてきました。

しかしこの間の物価高のラッシュに加え、イスラエルと米国による許しがたいイラン戦争のため、ナフサ不足から梱包資材などの入手困難まで影響は広範囲に及んでいます。

とても来年6月のまあの終業まで持ちこたえることはできないと考え、送料の負担を皆さんにお願いすることにしました。どうぞご理解ください。

やはい葉桜でした

希望農場 5月農場たより

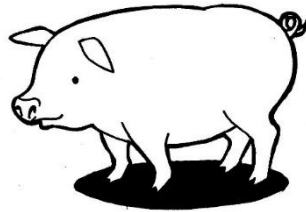
清野 光弘

今年北海道では、3月から4月にかけて暖かな日が続きました。雪解けも早く、4月になるとほとんどのところで積雪がなくなりました。ちなみに厚真町では、2月の末には積雪がなくなりました。そんなこともあって、桜の開花が例年よりも早くなりま

した。厚真町も4月20日過ぎには、桜が開花しました。ここ数年、ゴールデンウィークには桜が散ってしまっていたことが多くなってきて、また今年もか？ こんな考えでいると予想が的中してしまいました。何輪かの花は咲いていましたが、ほとんど散ってしまった中でのジギスカンになりました。やはり、桜の花の下でのジギスカンが一番おいしいと話しながら、ビールを飲みました。

まだまだ続く、イランとアメリカ・イスラエルの戦争。日に日に物価が上がっていています。私は政治には詳しくはないのですが、やはり戦争のない平和な世界が一番だと思います。当事者の方々の話し合いにより早く戦争が終わり、以前の平和な世界に戻ってほしいです。この物価高は、この農場の経営にもかかわることなので…。

さて、放牧豚たちは人間の世界の物が値上がりしていることをよそに、温かくなってきた気候がうれしいのか元気に農場を走り回って、モリモリと飼料を食べ、水を飲んでおります。ただ、その姿を見るとホッとした気持ちになります。雨が少ないこともあって農場を豚たちが走り回ると、土煙が舞うほどです。



皆様も物価高に負けず、お体には十分お気を付けてください。私たちも健康で働き、皆様に美味しいお肉をお届けいたします。

山の記録

イブネ(滋賀県東近江市) 6月4日

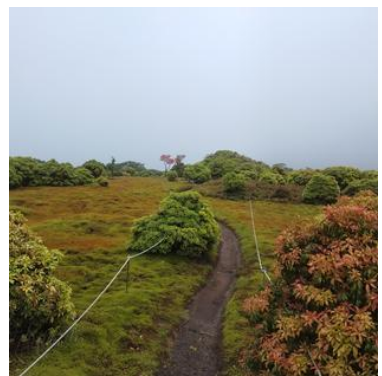
3月の雨乞岳と同じ登山口です。7時過ぎに着いて靴ひもを締めていると、もう一台上ってこられました。「雨乞ですか?」「いえ、ちょっとこの辺を歩くと、すみません」。謝ることはないんだけど…。今日も一人か。

7時25分スタート。一昨日の台風の影響か、道路に倒木や落石があります。道路が川になっているところもあります。沢を登っていくので何度



2026年7月 July
も渡渉しますが、増水し勢いが強いので、さてどこを渡ろうかと悩みます。「渡渉クイズ10問!」のもりで楽しみます。通行禁止の危ない橋2か所も、そろそろ渡って事なきを得ました。ふとズボンを見ると、いつの間にかヒルがそろそろと上がってきています。軍手にもシャツにも! 「雨上がりはヒルが多い」と聞いていますが、今まで75年間直接お目にかかったことはなく、初対面です。あまり親しくなりたくはないので、しっかり振り払ってさよならしました。そんなこんなで2時間以上かかってやっと杉峠に着きました。

ここからは風景がガラッと変わります。雨乞岳と逆の北に向かうコースは、低灌木やコケなどで、見通しもよく明るい雰囲気です。高低差も少なく足にも優しい。佐目峠から少しがれきの坂を登り返し、ちょうど3時間でイブネに着きました。霧の中、苔の絨毯に覆われた山頂の風景は幻想的で、天国のようです。苔を保護するため登山者用通路にはロープが張られています。ちょっと苔に乗ってみると(よい子はマネしないでね)、思いのほか厚みがありしっかりしていて、ペルシャ絨毯みたいです



(知らんけど…)。帰りの下りもそう早く歩けません。が、ちょうど1時に車まで戻りました。

ニクヤノツブヤキ

- ◇ 人並みに白内障の手術をすることになりました。今回は右目です。手術自体は10分ですむと言いますが、感染症予防で前後のケアが結構大変です。(幸治)
- ◇ 左膝が痛いなぁと感じ始めたころ、「100年ひざ」という本に出会いました。軟骨は自力で再生する! と書かれていて「足放り」という体操をやっています。(幸子)